

あざが



主要地方道宇治木屋線(仮称) 犬打峠トンネル着工を祝う会

3月20日、トンネル着工を祝う会が開催されました。和束町側からも5月中頃からトンネルの掘削工事が始まります。完成が待ち遠しいです。

第1回定例会

決まったこと 4年度予算 質疑 >>> P.2

討論・条例・補正予算等 >>> P.5

一般質問 2人が町政を問う >>> P.7

委員会報告 総務厚生・産業他 >>> P.10

まちの元気 門前区 堀弘行さん >>> P.12

令和4年度予算

総合保健福祉施設整備事業 本格的に動き出す



解体される社会福祉センター

社会福祉センターや国保診療所の老朽化により、総合的な保健・福祉施設の整備として進めてきた総合保健福祉施設整備事業が、今年から本格的に動き出す。10月から社会福祉センターの解体工事が始まり、令和6年9月の完成を目指し事業が進められる。その間、

住民の安心 安全の確保

当初予算は、3月15・16日に開催した全議員で構成する予算特別委員会で審議し、令和4年度に取組む事業や予算内容について質疑を行いました。討論、採決の結果、一般会計及び6つの特別会計の当初予算を原案通り可決しました。



新しくなる祝橋

社会福祉協議会などは、老人福祉センターで業務を実施される。祝橋は、順調に工事が進められ、本年度中に橋が架かる予定である。石寺橋についても測量設計業務が進められる。また町道撰原下島線拡幅改良工事や別所舟尾川、白栖大勘定川の浚渫工事も実施される。

交流人口・関係 人口の拡大を 指して

昨年オープンした交流ステーション和東の郷（農産物直売所）では、地元産品を使用した商品の開発などに取り組まれ、交流の場と情報発信の拠点として、都市農村交流の促進を図る。

地方創生推進交付金を活用し、空き家を活用したサテライトオフィスの設置や茶文化体験・農村体験、農村留学など交流人口の増加を図る。

また、昨年引き続きグリーンスローモビリティ有償運行（石寺コース）も実施。さらに移住者の獲得を図るため、移住者向けに町内を案内する手段としても利用される。



グリーンスローモビリティ運行

水道料金値上げ

和東町の水源を一つにした統合簡易水道事業が2年度に完成し、安心安全な水の供給が実現した。昨年9月に水道給水条例が改正され4年度から一般家庭において、1か月の基本料金は、5立方メートル、2000円に。超過料金は、1立方メートルにつき、2000円の追加となる。住民にとっても厳しい負担となる。

0歳児から2歳児の 保育料も無償化へ

子育て支援

新生児の出生世帯に10万円を給付し、すべての保育園児に対し、保育料の完全無償化を実施。また、小・中学校の給食費や修学旅行費の無償化、18歳までの医療費無償化も引き続き実施される。経年劣化による和東保育園の耐震・改修工事もはじまる。その間の保育は、整備された東保育園を仮設園舎として利用する。



耐震・改修される和東保育園 改修が終わるまで東保育園で保育

【4年度の主な予算】

- 和東保育園耐震改修事業
1億6,151万円
- 祝橋整備事業
1億1,670万円
- 総合保健福祉施設整備事業
1億740万円
- 町道撰原下島線拡幅改良事業
5,813万円
- 移住・定住促進事業
1,712万円
- 石寺橋整備事業
1,212万円
- 和東茶特産品開発事業
400万円
- 和東茶ブランド確立事業
300万円
- 子育て応援給付金事業
150万円
- 地域ブランド育成支援事業
150万円

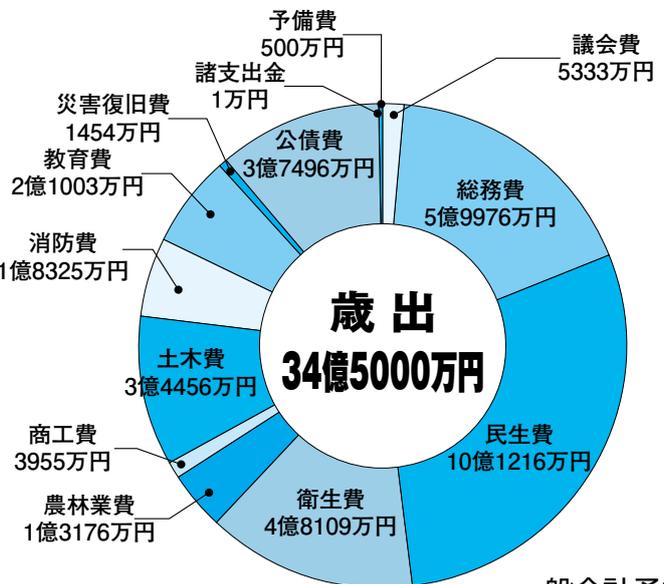
公共交通システム

路線バス対策事業では、バス利用者が減少する中、路線再編に向けた取り組みを検討。高齢者のバス利用の促進を図るため、数え70歳の方を対象に奈良交通バスICカードを昨年度に引き続き交付する。新規事業として奈良交通バス等を利用した観光客の増加や地域経済の活性化を図ることを目的に、にぎわい回復周遊バス支援事業が実施される。

特別会計予算

・湯船財産区	210万円
・国民健康保険	6億7,120万円
・簡易水道事業	2億870万円
・下水道事業	2億5,130万円
・介護保険	7億2,220万円
・後期高齢者医療	8,190万円
合計	19億3,740万円

各特別会計の予算は、原案通り可決しました。



一般会計予算

予算特別委員会 主な質疑

水道・下水道事業関係

問 市町村設置型の浄化槽と個人設置型の浄化槽の補助割合が異なる。個人設置では、負担は6割、市町村設置では負担は1割で済む。公共浄化槽に切り替えられないか。

答 協議が必要。なるべく個人の負担が軽くなるよう本町に合った形の施策を考えたい。

問 水道料金値上げ反対の声、請願書に対しいかに受け止めていますか。

答 町民の方に対し、説明が不十分だったのかと反省をしている。この反省を次に活かせていくことが大事だと思っている。

問 水道の値上げを今回はせず、次回に繰り延べした場合、料金はどのようになるか。

答 基本的に高くなることに間違いはない。今回の値上げの時期は適切な対応だ

つたと考えている。

問 以前から水道料金は値上げしないとだめだと言っている。値上げに絶対反対ではないが、倍近い値上げはびっくりだ。値上げすべき時にしなかったその責任は重い。

答 上げるべき時は、上げなきゃならないと、教訓として次に生かしていただく。

問 西部の簡易水道で度々漏水が発生している。この地区の対応計画は

答 令和4年度の事業、料金体系を見込み、令和7年度辺りから計画を立てていきたい。

問 京都府では水道の広域化について議論されている。公営企業会計の導入も含め今後どのように展開するのか。

答 難しい点もあるが、維持管理面でメリットもあり、広域化に向けて前向きに考えている。

問 益々人口は減少が見込まれる。世帯数が減る。供給量の経費と収入のバラ

ンスは保たれるのか。

答 管路の長さやこれに対するポンプアップ等の機器の経費節減は難しい。全国的に水道事業が枯渇しているのが現実。出来る事、出来ない事を区分けして、工夫することを検討していく必要がある。

その他

問 子育て三世帯同居等応援住宅総合支援補助金とは。

答 新婚世帯又は子育て世帯に対して生活に必要な不可欠な住宅確保の支援。また、多子世帯の三世帯同居で18歳以下の子供が3人いる家庭のリフォームに対して補助金が支給される。同居が難しい場合は2km圏内に住まいの方にも近居とのことで補助金が支給される。

問 わくわく地方生活実現移住支援金とは。

答 東京圏等から移住されたい方に、住宅確保等に係る支援金。

問 空き家活用による新ビ

ジネス創生事業とは。

答 空き家改修の助成金として和東町のサテライトオフィスを拠点拡大に繋げる。

問 第5次総合計画で令和4年度、住宅整備していく必要があるとなつている。具体的な内容とは。

答 トンネルを見据えた住環境整備を検討していくことが大事。また、関係人口や2拠点住宅にも柔軟に対応していく必要がある。

問 生ごみを使った堆肥リサイクルについて現状と今後の計画は。

答 堆肥の取り組みについては廃棄茶葉を含む食物残渣を活用した完熟堆肥作りを取り組んでいる。現在世界的に言われているSDGsの取組を見据えた循環型農業を目指す事業で、今後は販売も視野に取り組んでいる。

問 森林経営管理事業とは。

答 森林の管理が行われていない所を市町村が仲介し森林所有者と事業者を繋ぐことで、適切な管理を行

い森林が活用され、地域の活性化に繋がりが、また多面的機能が向上し土砂災害等の発生リスクを軽減、地域住民の安心安全に繋がる効果が期待されている。

問 総合保健福祉施設が新設された後の診療体制は。

答 今の所、現状維持の診療体制だが、所長の常駐など、あるべき姿にしていくなると、診療所の存在意義を住民に知らせていくことが住民不安をなくすことにつながる。和東町の診療所レベルアップを図り、満足いただける診療所に育てていきたい。

問 犬打峠開通後のインフラ整備、周辺の道路整備に着手する必要があるが、農地法の絡みもあり待ったなしではないか。

答 農振地は非常に慎重に取り扱っていかねばと理解する。考え方としては、農業委員会の意見を重んじながらその上で判断し、必要があると判断されれば府へ申請する。

反対討論

岡本正意 議員

3年目を迎えたコロナ禍は、いまだ収束の目途は見えません。住民生活となりわい、地域福祉と地域経済を守り支える役割を發揮し、責任を果たすことが強く求められる中、部分的に評価できる所はあるが、全体として不十分であり、改善すべき点が多くある。

具体的には、①水道料金の大幅値上げは、最大の生活破壊であり、回避するため水道会計への繰入れを行うべき②コロナ対策は、国や府任せでなく、検査体制の抜本的な拡充など町としての感染対策が極めて重要③定住対策について、空家の活用は重要だが、住宅整備をメインに進めるべき④総合保健福祉施設整備に向け、施設でのサービスを担う専門職スタッフの確保への方向性や取組が不透明⑤公共交通について、利用者の利便性向上を目的にした検討をすべき⑥連合による教育委員会は教育的な観点はない。直ちに各町村の事務に戻すべき

賛成討論

高山豊彦 議員

住民の安心・安全な生活の確保を最優先としつつ、第5次総合計画に掲げる、将来を見据えた様々な施策を盛り込んだ予算編成となっている。

具体的には、①子育て支援の充実として、新生児の出生世帯に10万円を給付、保育料の原則無償化を実施、和東保育園の耐震改修工事など更なる拡充を図られる②保健・福祉・医療の一体的な提供体制の整備を図った総合保健福祉施設整備事業や祝橋の架替工事、町道の拡幅改良工事など、住民が安心して快適に暮らすことが出来る施策の推進③基幹産業である和東茶のブランド化をさらに強化するとともに、ゴルフカートによる観光に特化した自治体有償運送、地域の交流促進拠点の交流ステーション運営など、関係人口、交流人口の拡大を目指した取組

※討論は、いずれも一般会計予算に対するものです。

条例の一部改正・補正予算等すべて可決されました

条例

職員の給与に関する条例・特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の改正

人事院勧告等による期末手当支給率の改正。(減額)

職員の育児休業等に関する条例の改正

育児休業を取得しやすい勤務環境の整備に関する措置等。

消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の改正

分団長等の年報酬や費用弁償の改正。(増額)

消防団員等公務災害補償条例の改正

損害補償を受ける権利の改正。

契約の変更

町道鷲峰山線祝橋下部工事に係る請負契約の変更

大型ブロック積工の胴込・裏込コンクリート厚の変更により契約金額84万5900円減額。

その他

木屋辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定

木屋地区の観光・レクリエーションに関する施設の整備計画(令和4年度～8年度)

和東町観光案内所の指定管理者の指定について

引き続き、管理者に和東町商工会を指定(令和4年度～8年度)

和東山の家の指定管理者の指定について

引き続き、管理者に和東町活性化センターを指定(令和4年度～6年度)

湯船マウンテンバイクランドの指定管理者の指定の変更について

指定の期間を令和4年3月31日までとする。

補正予算

一般会計

コロナワクチン接種(3回目)に係る費用の増額や各事業の完了・精査に伴う減額等

簡易水道事業特別会計

地方公営企業法適用支援業務の減額等

下水道事業特別会計

地方公営企業法適用支援業務の減額等

介護保険特別会計

施設介護サービス給付費の減額等

副町長の選任について

任期満了により、現副町長である

奥田 右 氏を再任しました。

請願書

水道料金の値上げの中止・再検討を求める会より
 請願（請願署名数 1413名）のあった、「令和4
 年4月からの水道料金値上げの中止、再検討を求め
 る請願書」について、不採択となった。
 （紹介議員 岡田勇・小西啓・吉田哲也・岡本正意）

賛成者 3人
 反対者 5人

意見書

第1回定例会（3月）に次のとおり意見書が提出
 されました。

①年金引き下げの中止を求める意見書

提出者 岡本正意 議員

否決

賛成者 4人
 反対者 4人

賛成者、反対者同数の為、議長裁決で否決

②日米地位協定の改定を求める意見書

提出者 岡本正意 議員

否決

賛成者 2人
 反対者 6人

③保健所、医療機関の体制強化、検査体制の抜本的
 拡充を求める意見書

提出者 岡本正意 議員

否決

賛成者 2人
 反対者 6人

令和4年第1回定例会(3月)に、提出された議案のうち賛否がわかれたもの。

各議員の賛否

審議結果	会議区分	議案名	議員名									
			岡田 勇	高山 豊彦	藤井 清隆	村山 一彦	吉田 哲也	井上 武津男	岡本 正意	畑 武志	小西 啓	岡田 泰正
可決	委	令和4年度和東町一般会計予算	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○
可決	委	令和4年度和東町国民健康保険特別会計予算	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○
可決	委	令和4年度和東町簡易水道事業特別会計予算	-	○	○	○	×	○	×	○	×	○
可決	委	令和4年度和東町下水道事業特別会計予算	-	○	○	○	×	○	×	○	×	○
可決	委	令和4年度和東町介護保険特別会計予算	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○
可決	委	令和4年度和東町後期高齢者医療特別会計予算	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○
可決	本	和東町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	×	○	○	-
可決	本	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	×	○	○	-
可決	本	湯船マウンテンバイクランドの指定管理者の指定の変更について	欠	○	○	○	○	○	×	○	○	-
可決	本	令和3年度和東町一般会計補正予算（第8号）	欠	○	○	○	○	○	×	○	○	-
可決	本	副町長の選任について	欠	○	○	○	○	○	×	○	○	-
不採択	本	令和4年4月からの水道料金値上げの中止、再検討を求める請願	欠	×	×	×	○	×	○	×	○	-
否決	本	年金引き下げの中止を求める意見書	欠	×	○	×	○	×	○	×	○	×
否決	本	日米地位協定の改定を求める意見書	欠	×	×	×	×	×	○	×	○	-
否決	本	保健所、医療機関の体制強化、検査体制の抜本的拡充を求める意見書	欠	×	×	×	×	×	○	×	○	-

*会議区分 本は本会議 委は予算特別委員会 ○は賛成 ×は反対 欠は欠席 -は採決に加わらない。

岡田 泰正議長は本議会の採決に、岡田 勇予算特別委員長は予算の採決に加わらない。但し、賛成、反対同数の場合は裁決する。

一般質問

町政を問う！ 提案する！

3月10日に行った一般質問には、2人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。各議員の質問項目を紹介します。

①高山豊彦議員（8ページ）

1. きれいな水環境を創るための下水道等の整備について今後の考えは

②岡本正意議員（9ページ）

1. 新型コロナ感染「第6波」を踏まえた対策強化を
2. 原油高騰から暮らしを守る支援を
3. 公共交通の充実に向けて



一般質問は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。

詳細は、後日ホームページに掲載する議事録でご確認ください。





高山 豊彦 議員

町長

汚水処理事業の一元化で 住民負担額の公平性を！

全体を公共的に考え、和東のあり方を 検討する。

問 公共下水道への接続を促進する取り組みと、今後の考えは。

答 町長

接続率は70%で、高齢者世帯や独居世帯の未接続が見られ、接続を促す施策を検討する。また整備から20年経過した処理施設のストックマネジメント計画を立て、施設全体のあり方等、早期に戦略が組み立てられるよう進めたい。

問 公共下水道接続世帯と合併浄化槽設置世帯の個人負担額の格差の考えは。

答 建設事業課長

下水道料金は基本料金の世帯で年額約1万6000円、4人世帯で約6万7000円、浄化槽の場合7人槽の管理費と汚泥処理で約7万5000円となる。国の補助制度も見据え、公共浄化槽など住民が快適に暮らせる事務を進めたい。

問 下水道未整備地区の生活排水等処理の今後の取り組みは。

答 農村振興課長

浄化槽の普及を軸に各種

施策の取り組みが重要、個人負担の関係や町財政など様々な観点から、京都府や関係機関と調整を図り生活環境の改善に努めたい。

問 下水道への接続促進に向けた、住民への丁寧な説明が必要。

答 建設事業課長

未接続の高齢者世帯や独居世帯の接続につながるよう丁寧な説明に努めたい。

問 下水道事業は一般会計から約1億6000万円の繰り入れがあり、事業の継続も難しくなる。多くの接続につながる接続奨励金の再検討や、国の補助制度は。

答 建設事業課長

国の補助事業等はなく、自から接続していただくこととなる。自主財源が伴うことで、20年を過ぎた施設の今後の運営の仕方も含め検討したい。

問 昨年12月20日に公共浄化槽等整備推進事業実施要綱等が改正され、汲み取り便槽や単独浄化槽から

合併浄化槽への切り替えの新たな補助制度を活用し公共浄化槽の普及は図れないか。

答 農村振興課長

生活排水処理施設の施策として大きな事柄であり、条例整備や財政負担の関係等、種々協議・検討が必要と考える。

問 下水道が整備されていない地域を特定推進区域として、国の補助制度による公共浄化槽の設置計画を進められないか。

答 建設事業課長

下水道の整備区域と浄化槽の整備区域を明確にしながら、農村振興課と連携を密に整備を進めたい。

問 12月議会で「生活排水の事業は行政が責任持つてやるべき」との答弁があった、高齢者の年金生活世帯では浄化槽の管理費が大きな負担、行政責任として負担の軽減を図るべき。

答 町長

環境省の補助制度もあり、公共的に捉え、ストックマネジメントの中で戦略を立て

て下水道行政に臨んでいきたい。

問 今後、下水道事業においても、高齢化や人口減少が進み収入の落ち込むことが予想される。事業を継続するためにも、下水道と浄化槽事業の一元化を図り、下水道料金で経営し、国の補助制度を最大限活用する中で、下水道への接続や合併浄化槽への転換の促進、また、個人負担額の公平化が図れないか。

答 町長

行政の在り方によって負担の違いは避けなければならない。補助制度とも絡めて全体で考えていく必要がある。



和東中央浄化センター



新型コロナ・感染状況や感染者の実態を把握

岡本 正意 議員

し、徹底した検査体制の拡充を

町長

自宅療養者への支援体制を整備、出来る限りの検査体制に努力したい

問 感染状況の実態把握について①町の感染状況をどう認識しているか②町としてしっかり実態把握を。府との情報共有を。

答 町長

①保健医療体制はひつ迫状況と認識②自宅療養者支援のため府と「覚書」を締結し連携体制を整備した。

問 感染状況を統括し共有する役場内の仕組みをつくるべきでは。

答 町長

感染拡大の防止を考え対応したい。

問 検査体制を拡充し①町内での無料検査体制整備を②医療、保育、介護、教育現場等での最低週1回の検査を。

答 福祉課長

診療所は検討中。保育園は実施、介護施設は府が実施、社協内の事業所も実施。教育現場は教委で検討。

答 町長

①診療所でドライブスルー方式を実施し、PCR検査補助も創設した。



診療所で無料抗原検査を実施

問 「いつでも、誰でも、無料で何度でも」検査できる体制整備を。

答 町長

町が出来る対応を踏まえ努力していく。

原油高騰から暮らしを守る支援を

問 政府の特別交付税の活用は。

答 町長

住民1人1万円の商品券を給付した。

問 福祉灯油、事業者への経費補助の実施を。住民への商品券再交付を。

答 町長
コロナ交付金を活用し、生活支援対策を検討している。

公共交通の充実に向けて

問 デマンド型乗合交通の実証運行では、乗降場所とバス停を結ぶ内容だが、メリットを弱めるのでは。

答 総務課行財政担当課長

バス利用改善と同時に、希望に応じた運行ルートの検証も行い、利用しやすい公共交通をつくりたい。

問 和从小から小杉間の路線再編の内容やスケジュールは。

答 町長

4月以降、半年かけて話し合いを行う。意見を踏まえ年内に再編案を策定、早ければ5年度から運行したい。

問 交通費負担の軽減を①高校生通学バス定期代補助を全額に。鉄道定期も補助対象に②ゴールドバス購入補助、定額運賃導入な

ど高齢者の負担軽減を。

答 総務課行財政担当課長

①3分の2補助実施後の効果が見られず、まず制度周知を強化し、必要な施策を検討する②70歳の方へのICカード利用を分析し、今後の助成のあり方を検討したい。

問 デマンドの料金とバス料金が重なる負担が大きく、バス料金の軽減が必要では。

答 総務課行財政担当課長

料金についても懇談等で意見を踏まえ検討したい。

問 再編後の代替交通のイメージは。

答 総務課行財政担当課長

朝と夕方の時間帯を定時運行する交通を検討したい。



「路線再編」で生活の足は？

総務厚生常任委員会

4月から
診療所新体制に村山
高山・岡本
畑・岡田(勇)

2月25日令和3年度予算の進捗状況、令和4年度の当初予算の概要について事務調査を行った。

各課から主な事業の執行状況が報告された。

総務課

○ふるさと応援寄付金事業では、ホームページで返礼品の新規事業者を募集している。

○路線バス運行維持事業である奈良交通バスへの赤字補填額はコロナ対応で国・府の補助金が予定されており約2100万円である。

税住民課

○町税は3億902万円の収入があり、予算額に対し約90%の収納率である。

○マイナンバーカードの交付は、1月末現在で1350枚の申請に対し11

45枚交付している。

○コロナ対策の住民税非課税世帯等への給付金について2月22日現在、457世帯から申請がある。

委員からの質問は

問 3回目のコロナワクチンの接種状況は。

答 2月11日に574人、13日に571人接種済、26日は280人の予定。高齢者については、2回接種された方に対して約80%の接種率である。

問 2月から9月までの間に看護師等の処遇改善が国から示されているが方向は決まっているのか。

答 国の基準で職員の給与が、どれくらいのところにあるのかを分析し対応していく。

問 対象となる職種は。保育士、看護師、福祉

関係でリスクのある職員が対象となる。

問 傷病手当金、実績がゼロであるがどのような給付金なのか。

答 国保の被用者が対象者で、コロナで休業された期間に対する給料の休業補償という形の手当金。

問 診療所の新体制はどうなるのか。

答 千春会（わらく）からは、2日。桐山先生は1日又は2日。あと1日又は2日は今非常勤で来ていただいている先生で予定しており、月曜日から金曜日までカバーできると考えている。

問 診療所長は誰になるのか。

答 千春会から来てもらう先生にお願いする。

問 やはり固定した診療体制をつくっていただきたい。

答 住民が安心して診てもらえる診療体制を確保する必要がある。今回緊急避難的に行っている。府立医大・千春会を軸に引き続き体制の確保について努力していく。

一部事務組合議会報告

相楽郡広域事務組合議会

第1回定例会が、2月16日に開催された。杉浦代表理事から、広域圏事業の今後のあり方検討会や組合の主な取り組みについて報告があった。今定例会から、一般質問が再開され、1名の議員から、大谷処理場や休日応急診療所の今後について質問されました。令和4年度当初予算について賛成多数で可決した。

令和4年度一般会計予算

2億6900万円

相楽中部消防組合議会

第1回定例会が、2月22日に開催された。河井管理者から新庁舎建設工事について、令和3年度4年度で設計業務を行い、4年度、5年度にかけ造成工事、その後、建設工事に入り、令和7年度の竣工に向け進めていく。令和3年の管内の災害状況について、火災件数は37件、救急出動件数は3444件と報告があった。損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について、賛成者全員で可決した。令和4年度当初予算について賛成多数で可決した。

令和4年度一般会計予算

19億7319万円

山城病院組合議会

第1回定例会が、2月22日に開催された。河井管理者から令和5年度の回復期リハビリテーション病棟開設に向け、関係機関と調整を行っていることと報告があった。令和4年度の業務予定量として、外来患者人数13万9725人、1日平均575人を見込んでおり、令和4年度当初予算や条例の制定・一部改正、損害賠償の専決処分について可決承認した。

令和4年度病院事業会計予算
介護老人保健施設事業会計予算

87億5074万円
4億7646万円

産業常任委員会

着々と進む

宇治木屋線トンネル工事

吉田 井上・藤井
小西・岡田(泰)

2月24日、令和3年度事業執行状況等について事務調査を行った。

地域力推進課

○1月24日付けで石寺区を景観重点第一種地区に指定した。

○ワールドマスターズゲームズ大会の会期は、5月の総会で決定される予定。

○教育観光については、コロナ禍で農泊の受入も難しい中、日帰り観光の受入を実施している。

総合施設整備課

○総合保健福祉施設整備設計業務について、委託業者も決定し、施設のイメージ図をHPで公表している。

建設事業課

○町道舟尾八王子線改良工

事は、3月から本工事の予定。

○原山地区内で河川改修工事を行っている。

委員からの意見や質問

問 総合保健福祉施設整備設計業務の公募型プロポーザルに何社から応募があったのか。

答 参加表明が22社、うち技術提案者の提出が19社であった。

問 出品茶への取り組みは。

答 コロナ禍で会議も開催できない状況であった、今後、調整していきたい。

問 熊の出没について、町内や観光客への周知は。

答 看板等の設置を準備している。南部は熊の生息区域に入っていないので、京都府と相談しながら対応したい。

問 森林経営管理事業について、今後の計画は。

答 国・府の補助事業であり、昨年は撰原地区周辺の竹林伐採をおこなった。今後も、森林組合と調整し、府道沿いの荒廃部分を中心に整備していく予定。

現地調査では、府道宇治木屋線トンネル工事現場を宇治田原町の方から視察し、説明を受けました。2月24日現在で、約1000mの掘削工事が進んでいます。



広域連合議会報告

相楽東部広域連合議会

第1回定例会が、3月2日に開催された。教育を振り返っての今後の方向性や学校の教育環境、クリーンセンターの現状と再稼働を含む今後の方向性などについて一般質問された。公平委員の選任や教育委員の任命について全員賛成で同意し、任期満了となる教育長の任命について、岡田善行氏を全員賛成で同意した。令和4年度当初予算について賛成多数で可決した。

令和4年度一般会計予算 8億2743万円

京都地方税機構広域連合議会

第1回定例会が、2月26日に開催された。副連合長に城陽市の奥田敏晴市長を、監査委員に大山崎町の山中一成議長を選任した。コロナ禍における徴収業務について一般質問された。令和4年度当初予算について賛成多数で可決した。

令和4年度一般会計予算 23億3279万円

京都府後期高齢者医療広域連合議会

第1回定例会が、2月10日に開催された。職員を3名増員する職員定数条例の一部改正について全員賛成で可決、個人情報保護条例や後期高齢者医療に関する条例の一部改正についてそれぞれ賛成多数で可決した。令和4年度当初予算は賛成多数で可決。請願書が1件出されたが不採択となった。

令和4年度一般会計予算 12億1758万円
医療特別会計予算 3846億8265万円

まちの

“元気”を
訪ねて

“人とのつながりを大切に、この場所を遊びの場、憩いの場にしたい” ~和東風の廣場 堀弘行さん(門前)~

今回は、門前の集落から少し離れ、周囲を茶畑で囲まれた中で陶芸をされている、堀さんにお話を伺いました。

Q 陶芸をはじめられたきっかけは？

A 近所に仏師さん（主に仏さんの彫刻をされる方）が引っ越してこられ、窯を造って陶芸を始められた。その時に声をかけていただき、色々と教えていただいたのがきっかけ。20数年前にその方は亡くなり、少ししか一緒にできず残念だったが、自分自身、陶芸をすることや人とつながる事の楽しさを教わり、すごく力をいただき影響を受けた。その方を通じて知り合った方とも今でもずっと交流があり、いいつながりをもたらした。

Q 今まで作られた作品は？

A 年に1回だけ窯を焚いている。ここに来ていただき作られた作品を、全部まとめて焼く。土は、信楽の土を使い、ゆうやくなども使



わず、自然のまままで作品を焼きあげる。今まで作品500個ぐらい作っている。作品は、燃やす薪の種類や窯の中の置く場所、温度によって色も全然違うものになるので、毎回どんな作品になるか楽しみです。

陶芸は、仕事の合間に趣味の範囲でやっている。窯出しをして、みんなで作出来上がった作品を見ながら、わいわい話をする時が一番楽しい。個展は、今まで1回だけ開いた。奥さんが経営している信楽の民宿でも作品を使用している。



Q これからやってみたいことは？

A これからも今までどおり、陶芸をしたり、食べ物を持ち寄り、コンサートを開いたり、せっかく人生でこんな機会を与えてもらったので、様々な場面での人とのつながりを大切に、続けられる限りたくさんの人と楽しみたい。この場所「和東風の廣場」を遊びの場、憩いの場にしていきたい。興味のある方は、一度工房に遊びに来て下さい。（一番の趣味は、アユ釣りで、陶芸も併せ楽しんでおられるようです）

（取材 藤井清隆・岡田泰正）

編集後記

新型コロナウイルスの世界的流行も3年目を迎え、各国の模索の中、静まる気配も感じられるところですが、本年2月にはロシアによるウクライナ侵攻という暴挙により、多くの命が失われましました。一日も早く戦火の止む事を願うばかりです。

そんな中、今議会では、令和4年度予算を中心に議論がなされました。中でも簡易水道事業予算につきましては、大幅値上げを求めるものであり、諸物価上昇の中、町民の皆様には多大な負担を強いるところとなり、誠に心苦しい限りではありますが、引き続き、おいしい水を安定して供給するため、断腸の思いでの予算化でありました。どうかご理解の程よろしくお願い申し上げます。

さて、今年もお茶のシーズンとなりました。自然の恵みに感謝しつつ、無事に、この季節を乗り切れる事を念じてやみません。

（藤井 清隆）

広報編集委員会

- 委員長 村山 一彦
- 副委員長 藤井 清隆
- 委員 吉田 哲也
- 委員 小西 啓
- 委員 岡田 泰正

第2回定例会は、6月中旬開催予定。